

# モリマーエスエスピー

日本モリマーグループの中核を担うモリマーエスエスピーは、ガラス繊維強化プラスチック（GRP）

（FRP）関連をはじめ得意とする製品・事業に経営資源を集中し、さらなる収益体質の強化を図っている。この戦略が奏功し、2016年度（17年3月期）は経常利益が過去最高を更新した。3カ年中期経営計画の最終となる今年度は売上高17

0億円と増収、粗利益は初となる10億円台を目指す。

## FRP成形品の営業強化

ネットワークの拡充に励んでいる。台湾・台北市の台湾プラスチックスクープ本社内に構える台北事務所と連携するなどして、次々と新規ビジネスを創出。最近では、台湾

繊維強化プラスチック（FRP）関連のワンストップソリューションを構築し、原料の仕入れから成形品に仕上げるまでを一貫して手がけている。GRP事業部では、海外

湾ガラスの高品質なガラス繊維を日本のエレクトロニクス関連企業に供給し始めた。国内では東京五輪関連需要をつかんでいく。ホテルや商業施設の建造需

要が増していることから、モリマーグループで製造している浴槽や壁紙といった建材の販売を拡大させていく。GRP事業部ではさらなる飛躍に向け、今年4月に組織を改正。FRP成形品の営業力を高めるため「成形品部」を新設し、既設の「技術部」では外国人技術者を含め増員した。GRP事業部とともに

成長を牽引する合成樹脂事業部は今後、光学フィルムや医療機器関連ビジネスを伸ばさせていく。全社が成長し続けるためには人材が不可欠。この1年半の間に十数名を採用した。新たに入社した多くが若手であることから、従来に増して教育に力を注ぎ、次代を担う人材に育て上げていく。